

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-053055

(43)Date of publication of application : 22.02.1990

(51)Int.Cl.

G03F 3/08

(21)Application number : 63-204350

(71)Applicant : DAINIPPON SCREEN MFG CO LTD

(22)Date of filing : 17.08.1988

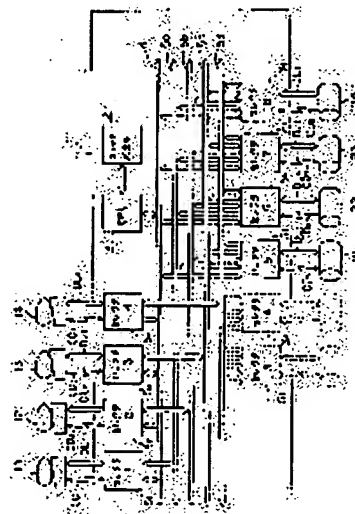
(72)Inventor : OTANI YASUO
NAKAMURA IKUO

(54) CONNECTION LINE SELECTION SWITCHING DEVICE FOR IMAGE PROCESSOR FOR PLATE MAKING

(57)Abstract:

PURPOSE: To connect image processors for plate making optionally in desired connection relation by switching a connecting means for a 1st connecting means group and a connecting means for a 2nd connecting means group according to a specific selection instruction.

CONSTITUTION: A connection line selection switching device 1 is equipped with eight selectors S1-S8, a switch panel 2 where an operator inputs the selection instruction for switching the mutual connections of the selectors S1-S8 from outside, and a controller 3 which performs selective switching operation with the inputted selection instruction. Consequently, intermediate image processing systems 11-14 and image input/output devices 21-24 are connected in optional combination at the same time by inputting the selection instruction.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平2-53055

⑬ Int.Cl.⁹

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)2月22日

G 03 F 3/08

Z

7036-2H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

⑮ 発明の名称 製版用画像処理装置のための接続ライン選択切換装置

⑯ 特 願 昭63-204350

⑰ 出 願 昭63(1988)8月17日

⑱ 発 明 者 大 谷 康 夫 京都府京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1番地-1 大日本スクリーン製造株式会社内
⑲ 発 明 者 中 村 育 男 京都府京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1番地-1 大日本スクリーン製造株式会社内
⑳ 出 願 人 大日本スクリーン製造株式会社 京都府京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1番地-1
㉑ 代 理 人 弁理士 吉 田 茂 明 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

製版用画像処理装置のための接続ライン選択切換装置

2. 特許請求の範囲

(1) 製版用画像処理装置のための接続ライン選択切換装置であって、

前記製版用画像処理装置を前記接続ライン選択切換装置に接続するための接続手段をそれぞれ少なくとも1つ有する第1と第2の接続手段群と、

前記第1の接続手段群の1の接続手段と前記第2の接続手段群の1の接続手段とを遊脱して互いに接続する選択切換手段とを備え、

前記選択切換手段に所定の遊脱命令を与えることによって、前記第1の接続手段群の任意の接続

この発明は、複数の画像処理装置を所望の接続関係で接続する製版用画像処理装置のための接続ライン選択切換装置に関する。

(従来の技術)

画像処理技術を用いた製版には、いわゆるスキャナなどの画像データ入出力装置や、画像データの編集処理を行なう製版処理システムなど、種々の画像処理装置が用いられる。

従来は、これら複数の画像処理装置を用いる場合にも互いに固定した接続ラインで接続されるにすぎなかった。

(発明が解決しようとする課題)

一方、画像データの入力装置、出力装置が多様化するに伴い、これら複数の製版用画像処理装置間における画像データの伝送経路を任意に変更

この発明は従来技術における上述の問題の克服を意図しており、複数の製版用画像処理装置を所望の接続関係で任意に接続しうる製版用画像処理装置のための接続ライン選択切換装置を提供することにある。

(目的を達成するための手段)

上述の目的を達成するため、この発明では、製版用画像処理装置のための接続ライン選択切換装置において、前記製版用画像処理装置を前記接続ライン選択切換装置に接続するための接続手段をそれぞれ少なくとも1つ有する第1と第2の接続手段群と、前記第1の接続手段群の1の接続手段と前記第2の接続手段群の1の接続手段とを選択して互いに接続する選択切換手段とを備え、前記選択切換手段に所定の選択命令を与えることによって、前記第1の接続手段群の任意の接続手段と、前記第2の接続手段群の任意の接続手段とを接続しうるようにした。

(作用)

接続ライン選択切換手段は、第1の接続手段群

それぞれは、セレクトバス5a~5dのそれぞれと接続されている。さらに、各セレクトS₁~S₈は、外部の画像処理装置と接続するために、図示しないデータライン接続端子とコマンドライン接続端子とをそれぞれ1つずつ備えている。

本実施例においては、セレクトS₁~S₈が接続手段として機能し、このうちセレクトS₁~S₄が第1の接続手段群を、また、セレクトS₅~S₈が第2の接続手段群を構成している。セレクトS₁~S₈は外部の画像処理装置と接続する機能のほか、選定するスイッチング機能を有しており、スイッチパネル2、CPU3、CPUバス4、及びセレクトバス5a~5dとともに選択切換手段を構成している。

第1図の例では、セレクトS₁~S₄が、それぞれ画像データ伝送ラインDL₁~DL₄及びコマンド信号伝送ラインCD₁~CD₄によって中間画像処理システム11~14に接続されている。一方、セレクトS₅~S₈は、それぞれ画像デー

タの接続手段に接続された製版用画像処理装置と、第2の接続手段群の接続手段に接続された製版用画像処理装置との接続関係を、所定の選択命令に応じて切換える。

(実施例)

第1図は、本発明の一実施例としての接続ライン選択切換装置の構成を示す概略ブロック図である。図において、接続ライン選択切換装置1は、8つのセレクトS₁~S₈と、セレクトS₁~S₈相互の接続を切換える選択命令をオペレータが外部より入力するためのスイッチパネル2と、スイッチパネル2に入力された選択命令を各セレクトS₁~S₈に伝達して選択切換動作を行なわせるコントローラ(以下、「CPU」と呼ぶ。)3とを備えている。CPU3は、CPUバス4を介してセレクトS₁~S₈のそれぞれと接続されている。また、接続ライン選択切換装置1は4つのセレクトバス5a~5dを備えており、各セレクトバス5a~5dはセレクトS₁~S₄とそれぞれ接続されている。一方、セレクトS₅~S₈の

送ラインCD₅~CD₈によって画像データ入出力装置21~24に接続されている。画像データ伝送ラインDL₁~DL₄は文字通り画像データを伝送するための接続ラインである。また、コマンド信号伝送ラインCD₁~CD₈は、中間画像処理システム11~14又は画像入出力装置21~24からCPU3に選択切換動作のための選択命令を送ったり、あるいは、中間画像処理システム11~14と画像入出力装置21~24相互間で動作命令を送ったりするための接続ラインである。

ここで、中間画像処理システム11~14としては、トータルスキャナ又はレイアウトスキャナと呼ばれる画像編集装置や、画像データを磁気テープに記憶する磁気テープ記録装置などが適用される。トータルスキャナは、例えば色調の修正、トリミング、複数の画像の合成、画像の切り抜き、縮小・拡大のレイアウトなどを行なう機能を有している画像処理装置である。

ースキャナ、モノクロスキャナなどのいわゆるスキャナのほか、二次原稿や校正画をカラー感材に焼付けるカラーレーザプロッタなどが用いられる。

セレクトタ $S_1 \sim S_8$ の機能は次の通りである。まず、セレクトタ $S_1 \sim S_4$ は、スイッチパネル2に入力された選択命令に従って、画像データ伝送ライン $DL_1 \sim DL_4$ とセレクトバス5a~5dの接続をそれぞれ開閉するスイッチング機能を有する。一方、セレクトタ $S_5 \sim S_8$ は、前記選択命令に従って、画像データ伝送ライン $DL_5 \sim DL_8$ を、それぞれセレクトバス5a~5dのいずれかと選択的に接続するスイッチング機能を有する。例えば、オペレータがスイッチパネル2に備えられた押ボタン（図示せず）を操作することにより、セレクトタ S_3 （すなわち中間画像処理システム13）とセレクトタ S_5 （すなわち画像入出力装置21）とを接続すべき選択命令を入力する。この結果、選択命令はCPU3及びCPUバス4を介してセレクトタ $S_1 \sim S_8$ に伝送され、セレクトタ S_3 を動作させて画像データ伝送ライン DL_3 とセレ

クトバス5cとを接続させる。さらに、この選択命令は、セレクトタ S_5 を動作させて画像データ伝送ライン DL_5 とセレクトバス5cとを接続させる。画像データ伝送ライン $DL_1 \sim DL_8$ は双方向性を有しており、上記例の場合、中間画像処理システム13と画像入出力装置21との間で画像データを交互に伝送することが可能である。

さらに、他の選択命令を入力することにより、中間画像処理システム11~14と画像入出力装置21~24との間を任意の組合せで同時に接続できる。なお、前述のように、選択命令は中間画像処理システム11~14又は画像入出力装置21~24からも入力できる。

第2図ないし第4図は、本発明の実施例による接続ライン選択切換装置1を用いた画像処理装置の接続例を示す概念図である。

第2A図は、本実施例における第1の接続例であり、中間画像処理システムとして入出力ステーション31を備えた画像編集装置30が接続されている。また、画像入出力装置として入出力スキ

ャナ41とカラーレーザプロッタ42が接続されている。

図において、画像データ伝送ライン DL_1 、 DL_5 及び DL_6 の矢印はデータの伝送方向を示している。すなわち、入出力ステーション31と入出力スキャナ41との間では画像データを交互に伝送できることを示し、また、カラーレーザプロッタ42は入出力ステーション31から画像データを与えられるだけであることを示す。なお、入出力スキャナ41とカラーレーザプロッタ42のどちらを入出力ステーション31と接続するかは、適宜オペレータが選択命令を入力することによって決定される。

第2B図は接続ライン選択切換装置1を用いない従来の接続例を示す。このように、従来の画像編集装置30の入出力ステーション31について、1台の入出力スキャナ41しか接続できず、画像処理の融通性に乏しかったものである。

ョン32及び出力ステーション33を備えた画像編集装置30aと磁気テープ記録装置34とが接続されている。また、画像入出力装置としては、高速入出力スキャナ41a、大サイズ用入出力スキャナ41b、カラーレーザプロッタ42及び入力専用スキャナ43が接続されている。第2の接続例では、例えば高速入出力スキャナ41a又は入力専用スキャナ43から画像データを入力ステーション32に伝送しつつ、同時に別の画像データを入力ステーション33から大サイズ用入出力スキャナ41b又はカラーレーザプロッタ42に出力できる。また、必要に応じて画像データを磁気テープ記録装置34に記録することも可能となる。

第3B図は第3A図に対応する従来の接続例である。すなわち、高速入出力スキャナ41aから入力ステーション32に画像データを入力しつつ、出力ステーション33から別の画像データを大サ

することはできなかったものである。

第4A図は本実施例における第3の接続例を示す。中間画像処理システムとしては、第3A図と同じ画像編集装置30aが接続されており、また画像入出力装置としては入力専用スキャナ43、出力専用スキャナ44及びカラーレーザプロッタ42が接続されている。さらに、第4B図に示すように磁気テープ記録装置34と入出力スキャナ41を接続することも可能である。第4C図は第4A図及び第4B図に対応する従来の接続例であり、入力専用スキャナ43と出力専用スキャナ44とを1台ずつ画像編集装置に接続できずにできなかったものである。

なお、上記実施例では第1の接続手段群としてセレクタを4つ($S_1 \sim S_4$)設け、また第2の接続手段群としてもセレクタを4つ($S_5 \sim S_8$)設けたが、接続手段(セレクタ)の数はこれに限らないことはいうまでもない。

また、セレクタ $S_1 \sim S_4$ は単に通像データ伝送ライン $DL_1 \sim DL_4$ とセレクタバス5a～

5dとの接続の開閉動作のみを行ない、一方、セレクタ $S_5 \sim S_8$ は画像データ伝送ライン $DL_5 \sim DL_8$ のそれぞれについてセレクタバス5a～5dのいずれかを選択して接続するスイッチング機能を有するものとした。しかし、セレクタ $S_1 \sim S_4$ もセレクタ $S_5 \sim S_8$ と同様のスイッチング機能を有するものとしてもよい。但し、この場合においても、例えば第1の接続手段群に属するセレクタ $S_1 \sim S_4$ は実際には決まったセレクタバス5a～5dとの開閉動作のみを行ない、第2の接続手段群に属するセレクタ $S_5 \sim S_8$ において接続の組合せを選択するように、CPU3などにより制御しておく必要がある。このようにセレクタ $S_1 \sim S_8$ を同一の機能を有するもので構成すれば、例えば、第1図に簡略で示すように、セレクタ S_3 と S_1 を第1の接続手段群から第2の接続手段群に変更することができ、接続手段の数を適宜調整できるというメリットがある。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば、所定の

選択命令によって第1の接続手段群の接続手段と第2の接続手段群の接続手段とを切り換えるので、用途の異なる画像処理装置を所望の接続関係で任意に接続できるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

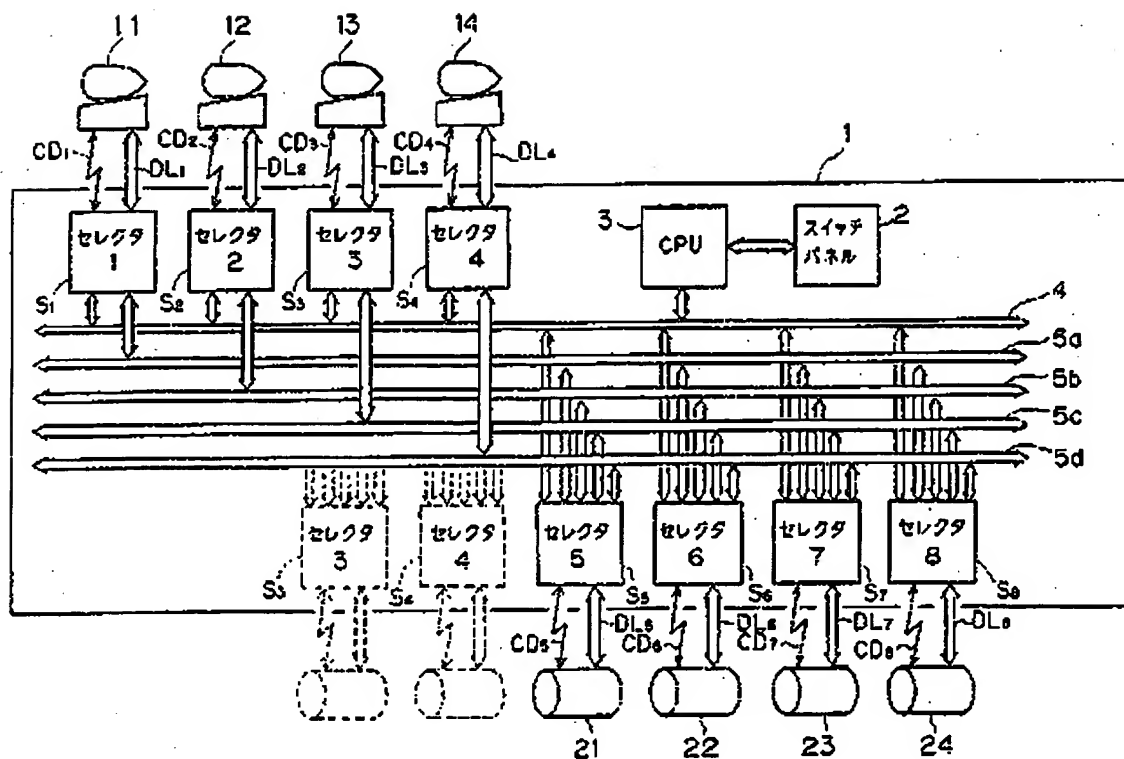
第1図は、この発明の一実施例を適用した接続ライン選択切換装置の概略ブロック図、

第2図ないし第4図は製版用画像処理装置の接続例を示す概念図である。

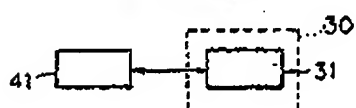
- 1…接続ライン選択切換装置、
- 2…スイッチパネル、
- 3…コントローラ(CPU)、
- 4…CPUバス、 5a～5d…セレクタバス、
 $S_1 \sim S_8$ …セレクタ

代理人 弁理士 古田茂樹
弁理士 古竹英俊
弁理士 森田良弘

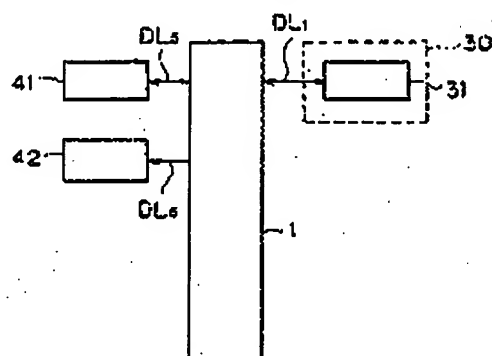
第 1 図



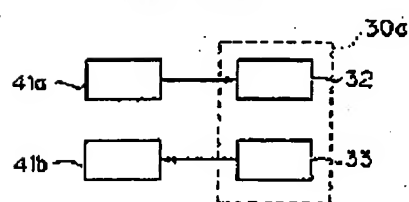
第 2B 図



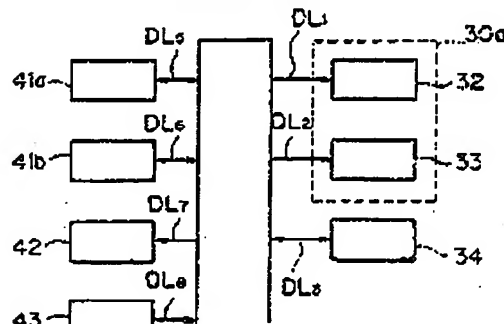
第 2A 図



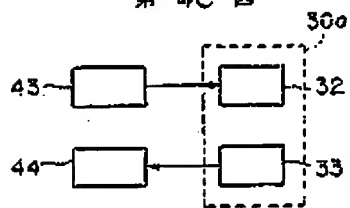
第 3B 図



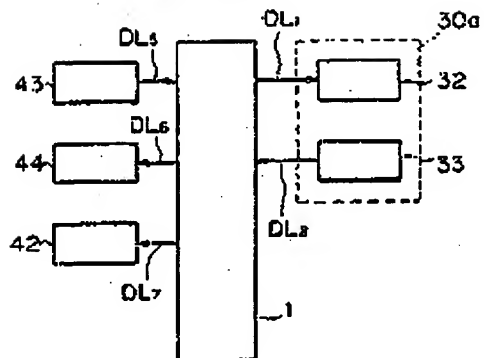
第 3A 図



第 4C 圖



第 4A 圖



第 4B 圖

